

平成21年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	消防団活動運営事業				開始年度		
基本目標	安全なまちづくり				終了年度		
担当課(局)	総務課	担当係	生活安全係	記入者	日高 茂利	評価者	間 省二
20年度決算	39,466	千円	21年度予算	37,762	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
20年度人件費	6,109	千円	21年度人件費	6,191	千円	事業従事者数	0.85 人 0.85 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	地域に密着した消防機関として「自分の街は自分たちで守る」という郷土愛護と使命感のもと、火災発生時における消火活動、地震や風水害といった大規模災害発生時における救助・救出活動、警戒巡視、避難誘導など、地域住民の生命・財産を災害から守る。
事業の内容	団員訓練・団員研修・公務災害補償・退職功労金支給・操法大会・消防始め式等。

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 火災・訓練等出動回数	火災発生時の消火活動、訓練を通じた技能向上
	2	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 消防団員数	団員の確保による活動の充実
	2 費用弁償額	消防団活動に対する諸経費
	3	

◎達成状況

指標名		単位	19年度	20年度	21年度	
成果指標	火災・訓練等出動回数	目標値	25	25	25	
		実績値	29	33		
		達成率	116.0%	132.0%		
	0	目標値				
		実績値				
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標	消防団員数	目標値	260	265	270	
		実績値	259	254		
		達成率	%	99.6%	95.8%	
	費用弁償額	目標値	千円	14,706	12,380	12,380
		実績値		14,293	14,022	
		達成率	%	97.2%	113.3%	
0	目標値					
	実績値					
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!		

◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	消防組織法に基づき、市町村は、当該市町村の区域における消防を十分に果たすべき責任を有することが明記されている。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	災害時等に必要の人員をすみやかに確保できるとともに、鍛錬された指揮系統のもと、未然に・早急に現場対応することができている。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	ボランティア活動とはいえ、生死に関わる職務を遂行するため、常に訓練や志気の向上活動が必要である。よって、最小限の補償や研修経費、報償は必要である。少子高齢化が進む中、団員の減少を最小限に止めている。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	団員は町民であり、家庭と仕事を持っている。本人の熱意はもちろんのこと、家族・職場の理解のもと制度が成り立っている。

事務事業名	消防団活動運営事業	担当課(局)	総務課
-------	-----------	--------	-----

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	<p>◎担当者の方針に対する評価者としての所見</p> <p>◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等</p>	<p>災害時等の対策は、消防団に対応をお願いしている状況である。しかしながら団員の確保が難しくなっており、行政としても支援が必要</p>	今後の方向性				
			事業の方向性	拡充	現状維持	縮小	廃止
						○	
			廃止	縮小	現状維持	拡充	
			コスト				

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎推進・啓発の活動として事業をとらえ、その成果を指標として表すのが良いのではないか。
	コスト	現状維持	